

(様式1)

自 己 評 価 表(令和7年度)

愛媛県立松山商業高等学校 定時制
学校番号 (25)

グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）	カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）
1 学校生活を通じて、職業人としての倫理観や豊かな人間性を養い、地域社会から信頼される人材を育成します。 2 学習活動に主体的・協働的に取り組み、将来にわたり、地域で活躍できる資質と能力を育成します。 3 学校行事や生徒会活動を通じて、コミュニケーション能力を育成します。 4 地域社会に根ざした商業教育や体験型学習を通じて、自己肯定感を高めます。	1 普通教科と専門教科をバランスよく学び、基礎学力の定着と専門的知識・技術の習得を図ります。 2 I C T機器を効果的に活用し、主体的・対話的で深い学びを推進します。 3 各種検定試験や資格取得において、生徒と教職員が共にチャレンジ精神を持って取り組みます。 4 生徒の自主性を尊重し、多様な学習ニーズに応じた学びの場を提供します。

領域	評 価 項 目	具 体 的 目 標	評価	目 標 の 達 成 状 況	次 年 度 の 改 善 方 策
グ ラ デ ユ エ ー シ ョ ン ・	グラデュエーション・ポリシーの達成	グラデュエーション・ポリシーに沿って生徒が成長していると感じる教職員の割合7割以上	A	「グラデュエーション・ポリシーに沿って生徒が成長していると思いますか。」という教職員対象のアンケートに対して、87%が「十分に成長している」「成長している」という肯定的な評価をしているが、12%が「どちらとも言えない」という否定的な評価をしている。	地域社会と関わる体験的な学習や課題解決型の教育活動を展開し、グラデュエーション・ポリシーに沿った生徒の成長を促す。
教 科 指 導	各種検定試験への挑戦	各種検定試験の取得に全員が挑戦すること(挑戦率100%)を目指します。 A: 100%、B: 99%～80%、C: 79%～60%、D: 59%～40%、E: 40%未満	B	ほぼ全員の生徒が各自の学習到達度に応じた検定試験及び上位級に挑戦した。	学習到達度に応じた検定試験に挑戦させ、自信や達成感を味わわせる指導を心掛けていきたい。
		各種検定試験合格率70%以上を目指します。 A: 70%以上、B: 69%～60%、C: 59%～50%、D: 49%～40%、E: 40%未満	A	本年度の合格率は78.3%であった。昨年度の合格率は56.4%であったので大幅に増加している。	受検する検定試験はなるべく合格させられるように、適切な目標設定と粘り強い指導を心掛ける。
	漢字テストへの挑戦	個々の漢字テスト受験率80%以上を目指します。 A: 80%以上、B: 79～70% C: 69%～60%、D: 59%～50%、E: 50%未満	A	本年度6回の漢字テストを実施し、のべ101回の受験機会があったが、のべ94人が参加し、全体の受験率93.1%(R6年85.7%)であった。各回ごとにみると一番低かったのは3人欠席した第5回の81.3%であった。	今年度、80点以上の合格者は16人中11人(68.8%・R6年33.3%)、全体の平均点(欠席者は0点)は79.9であり、昨年度と比較して受験率も向上している。今後も受験率の向上・基礎学力の底上げを目指したい。
	分かりやすく特色ある授業	一人一人の到達目標を設定した授業を展開し、学んだことが将来に役立つと感じる生徒100%を目指します。 A: 100～95%、B: 94%～90%、C: 89%～85%、D: 84%～80%、E: 80%未満	B	生徒アンケートの「授業に工夫があり、分かりやすく楽しい授業か」は平均値は4点満点中3.5であり、教員アンケートの生徒一人一人の到達目標を意識した授業の工夫を行っているかは同3.7であった。	今年度から、必要とする生徒に対し、新たに個別の教育指導計画を立てて指導を行った。この体制を今後も継続し、きめ細かな指導体制を構築していく。
特 別 活 動	学校行事への参加	生徒が主体的に学校行事に取り組み、学校行事の満足度100%を目指します。 A: 100%～90%、B: 89%～70%、C: 69%～60%、D: 59%～50%、E: 50%未満	A	生徒アンケートの「学校行事の実施内容は適切で、積極的に参加でき充実していますか」という問いに肯定的な回答をしたものは100%であった。	生徒が主体的に活動し、目標である100%を達成することができた。来年度も生徒の意見を取り入れながら学校行事を充実させていきたい。
生 徒 指 導	出席率の向上	出席率90%以上を目指します。 A: 90%以上、B: 89%～80%、C: 79%～70%、D: 69%～60%、E: 60%未満	A	昨年度よりも出席率が向上した。例年と比較しても、非常に高い値である。(91.8%)	今後も今の高水準を維持できるよう、生徒理解に努めていきたい。
	挨拶の励行	さわやかな挨拶ができる生徒100%を目指します。 A: 100%、B: 99%～90%、C: 89%～80%、D: 79%～70%、E: 70%未満	B	ほとんどの生徒が、校内での挨拶ができています。授業の開始や終わりの挨拶もさわやかな挨拶ができています。	まだまだ受け身の生徒が多い。自ら進んで気持ちの良い挨拶ができるように指導していきたい。
	生徒理解	年間5回以上の個人面談や、年間2回以上の学校生活アンケートを行うなど、生徒理解に努めます。 A: 5回以上、B: 4回、C: 3回、D: 2回、E: 1回未満	A	始業前や休み時間などに生徒と会話を交わすことで、生徒理解に努めている。また、年に2回実施している学校生活アンケートの結果を教員間で共有して、生徒の支援等に生かしている。	生徒が教員に相談できるような雰囲気や互いの信頼関係をつくれるよう、より一層努めていきたい。また、生徒に関する情報を迅速に共有できるよう、教員間の連携をより緊密にしていきたい。
保 護 者 連 携	保護者の学校行事への参加	保護者の学校行事への出席率50%以上を目指します。 A: 50%以上、B: 49%～35%、C: 34%～20%、D: 19%～10%、E: 20%未満	C	全保護者参加の学校行事はPTA総会(参観授業・個別懇談)及び運動会である。PTA総会参加保護者は3名(16.7%)、運動会7家族(50%)18名という結果である。	定時制の場合、18時以降に行事が始まることが多いため、夜まで勤務を終えて、遅れて参加する保護者が多く、人数把握が難しかった。運動会の玉入れなどの競技に来場者の積極的な参加が見られた。
		ホームページの更新を年間50回以上行い、生徒の活動状況を積極的にお伝えします。 A: 50回以上、B: 40回以上、C: 30回以上、D: 20回以上、E: 10回未満	A	ホームページの更新は1月末現在で57回である。昨年度に比べて更新頻度が大幅に増加した。	各担当で積極的に更新することができた。さらに魅力的なホームページとなるように工夫していきたい。
進 路 指 導	進路実現の支援	各機関との連携を密に行い、進路実現100%を目指します。 A: 100%、B: 99%～90%、C: 89%～80%、D: 79%～70%、E: 70%未満	A	卒業生全員が第一希望の進学先に合格し、進路が決定した。	適宜、面談等を行いながら、個々に寄り添った進路指導ができるよう努めていきたい。
教 職 員	業務改善・働き方改革	管理職との信頼を構築し、働きがいと教師としての質の向上を実感できる職場づくりに努めます。	B	職場環境と職能成長に関する教職員の意識を問うアンケート2項目において肯定的な評価を得ている。	個々の働きがいとウェルビーイング向上のため、自己研修を深める情報提供に努め、お互いを認め合う風土の醸成を図る。

※評価は5段階(A: 十分な成果があった B: かなりの成果があった C: 一応の成果があった D: あまり成果がなかった E: 成果がなかった)とする。